

## IPv4 → IPv6 !?

楽天株式会社 開発編成統括本部 安武弘晃 | 2008年6月16日

1

お話の前提: 楽天 = 自前システム

### 楽天の技術部門概要

#### インターネットサービスを『内製』

##### ■正社員を中心とした開発体制

- 楽天(株)開発部および編成部所属
- 拠点は東京、宮城、大阪、北海道、福岡

##### 職種

サービスプロデューサー／アプリケーションエンジニア／インフラエンジニア／WEBディレクター・デザイナー／マネジメントスペシャリスト

##### ■管轄範囲

サービス企画、WEBアプリケーション、複数事業で共用できるプラットフォーム開発、サーバ・ネットワーク構築、データセンターの配線・ラック設計、セキュリティ対策

##### ■特徴

- 事業を横断してノウハウを共有
- 一部事業に特有のシステムを外注

### 内製の利点

#### 競争力

スピード

コスト

Just In Time

#### 基礎力

同志マインド

事業知識

技術品質

#### 安定力

セキュリティ

ガバナンス

### 特徴的な内製事例

#### 楽天開発方法論



楽天独自の工程標準

#### 楽天データセンター



配線・ラック設計

#### 楽天CSIRT

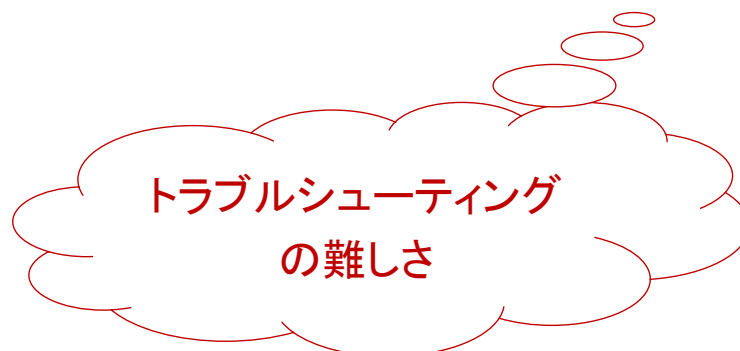
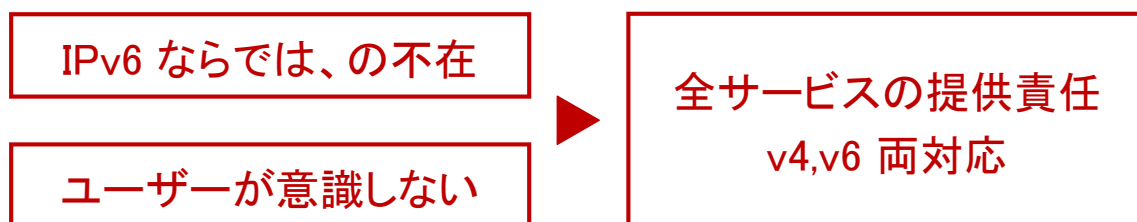
セキュリティ企業窓口

2



- そこにユーザーがいるか？
- 困っているならやらねばならない
  - その裏側に”困ってない段階で動く”難しさの存在
- 安定的にストレスなくサービスを提供する責任

- ROI
  - 何に対する投資か？
  - 困ったことに純粋に IPv6 対応は利益を生み出さない
- 投資(追加のコスト)
  - IPv6 に対応している機械を購入する費用
  - IPv6 で安定運用するための人的リソース
- ポイント
  - デュアルスタック対応の機械の方が安ければよい
- リードタイム
  - 会計上5年償却 ⇔ 使い切らないと問題もある



- やりたい+やっている
  - 社内での検証は進めていざという時に備える
  - v6を受けきり全世界のユーザから楽天が見えないということを1秒でもなくしたいというモチベーション
- 環境はそろってきた
  - 2006年ぐらいからデュアルスタックを条件に
    - ・ しかし、当時はIPv4だけでも半値とか安ければ... → 今現在は問題なし
  - NW機器からサーバー周辺は大丈夫そう
  - アプリケーションは特に気にしない(はず)
  - DNSは大変かもしれない
  - アプライアンス製品の課題が難
- ハードル
  - 実動するための予算確保
- 2009年に向けて

- 経済合理性の説明がつくタイミング
- よいタイミングが見えてきている
- ユーザーが不便を感じずインターネットを通じてよりよいサービスを楽しむことが何よりも最重要
- バランス

楽天

日本を、元気に。  
世界を、元気に。